セノン セキュリティ ニュース vol.583

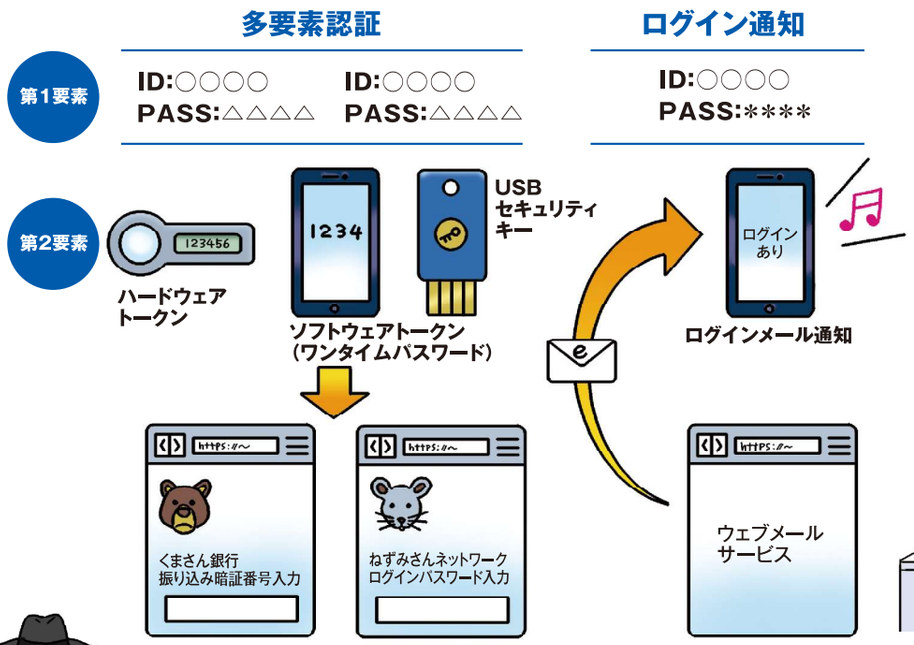
SENON
www.senon.co.jp

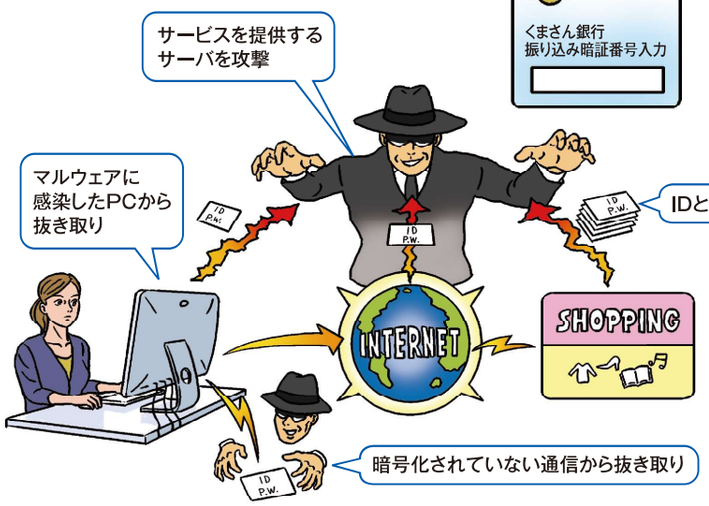
お金も、データも、安全なパスワードでしっかり守る

キャッシュレス決済のトラブルは大きなニュースになりました。お金、データ、自分の身は的確なパスワードで守りましょう。
政府から安全圏として推奨されているパスワードは、英大文字小文字+数字+記号混じりの10桁以上で、使い回しは厳禁です。面倒でも徹底を!

多要素認証やログイン通知でセキュリティを向上

ウェブサービスに安全にログインするために、複数の要素を使う多要素認証や二段階認証といった方法が提供されていれば必ず設定しましょう。そのほかにも、USBセキュリティキーで利用者を確認する方法や、不審なログインがあったときに、メールで利用者に通知するサービスがあれば活用しましょう。

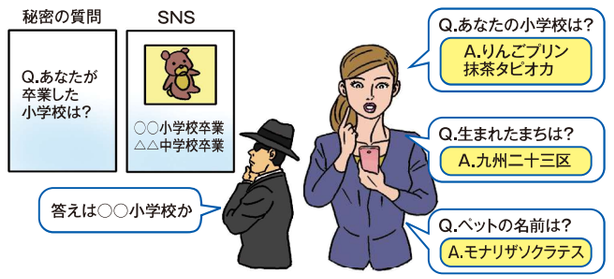




パスワードはどうやって漏れる?使われる?

機器がマルウェアに感染したり、通信などの過程で抜き取られたり、サービスの提供側から流出したりすることもあります。IDとパスワードを何らかの手段で手に入れた攻撃者は、これをなにか別のサービスで使えないか、様々な方法で試します。

秘密の質問にはまじめに答えない



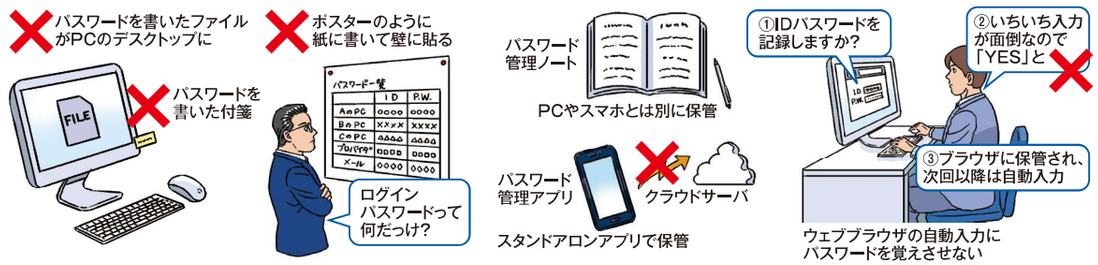
各種ウェブサービスには、パスワードを忘れたときの本人確認のために「秘密の質問」と呼ばれる機能があります。中には、「生まれたまちは」「ペットの名前は」など、生活に密着したものからしか選べない場合も。SNSが普及した昨今、こうした個人情報は簡単に探せるため、まじめに答えるとセキュリティホールになることも。あえて全く関係のない答えにして、SNS等でも推察されないようにしましょう。

生体認証を使う

生体認証は、本人のみが使える反面、指紋認証は寝入っている間に勝手にロック解除される危険も。ただ、肩越しの盗み見などによる暗証番号の盗難には強い機能があります。生体認証は通常のPIN入力の代わりが多く、スマホでは失敗すると通常の数字入力に戻ります。本体を盗まれて、この方法でロック解除されないよう、誕生日などの個人情報は使わないようにしましょう。

パスワードの適切な管理

パスワードは、基本的に利用する場所で保管してはいけません。しかし複雑なパスワードを設定したらとうてい覚えられないもの。管理の方法としては①紙のパスワード管理ノートで保管する、②スマホのパスワードアプリを利用する　などがあります。



内閣サイバーセキュリティセンター『インターネットの安全・安心ハンドブックVer 4.03』の「基本のセキュリティ」を参考に、一部セノンで編集しました。

2019年11月1日発行　セノン誌11月号第583号

株式会社セノン　本社　〒163-0416 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング
TEL.03-3348-7111(代表)　FAX.03-3342-2015